

一般廃棄物の現況と推移(令和5年度実績)

1 ごみの排出量及び県民1人1日当たりの排出量の推移

- 令和5年度の県内のごみの総排出量は759千トンで、県民1人1日当たりの排出量は923g/人日（前年度比49g/人日減）でした。
- 総排出量及び1人1日当たりの排出量は、平成23年度において東日本大震災の影響から大きく増加し、以降は毎年度減少傾向ではあるものの、依然として高い水準で推移しています。

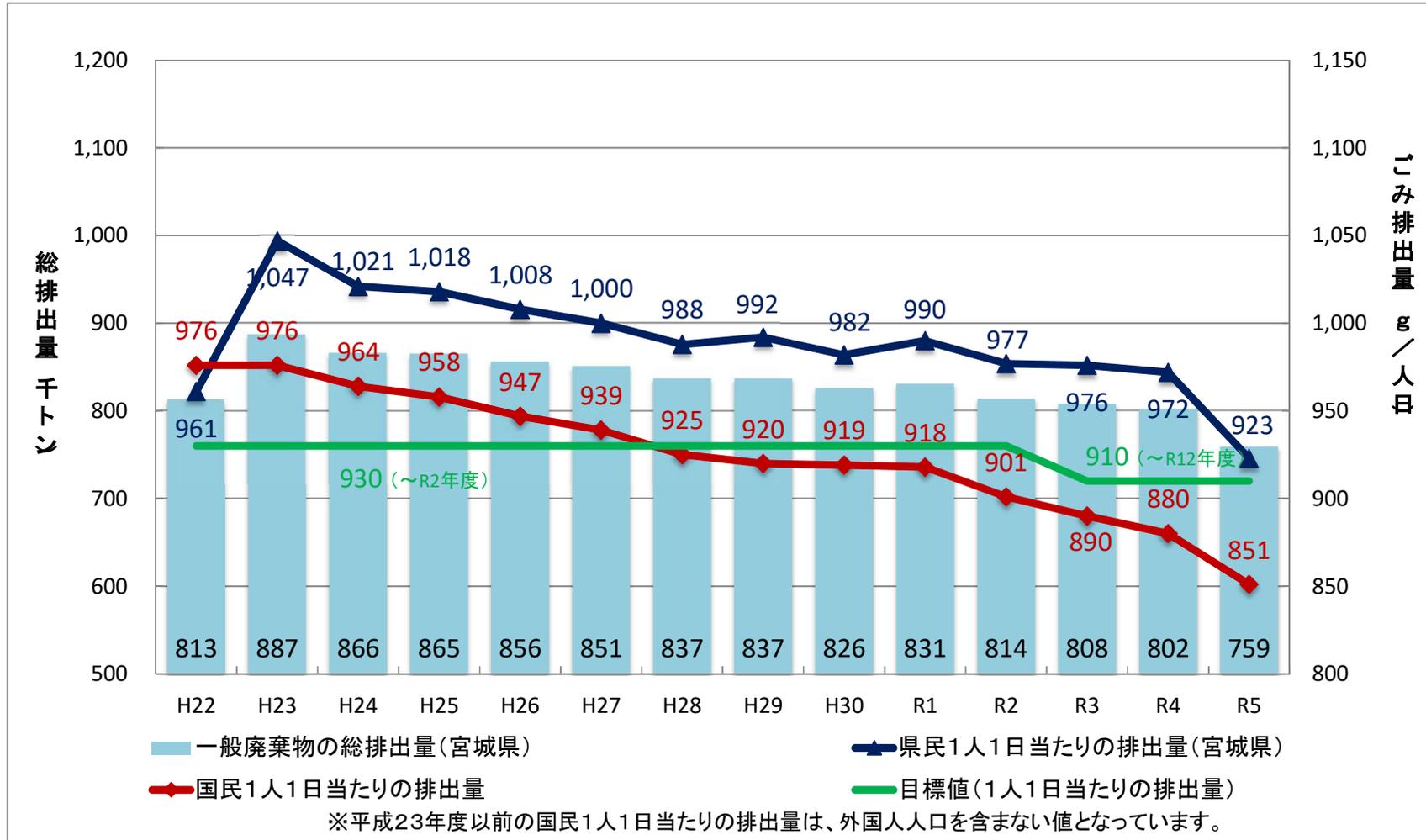


図1-1 ごみの総排出量の推移

○ 令和5年度の県民1人1日当たりの排出量は、生活系が645g/人日（前年度35g/人日減）、事業系が278g/人日（前年度14g/人日減）でした。

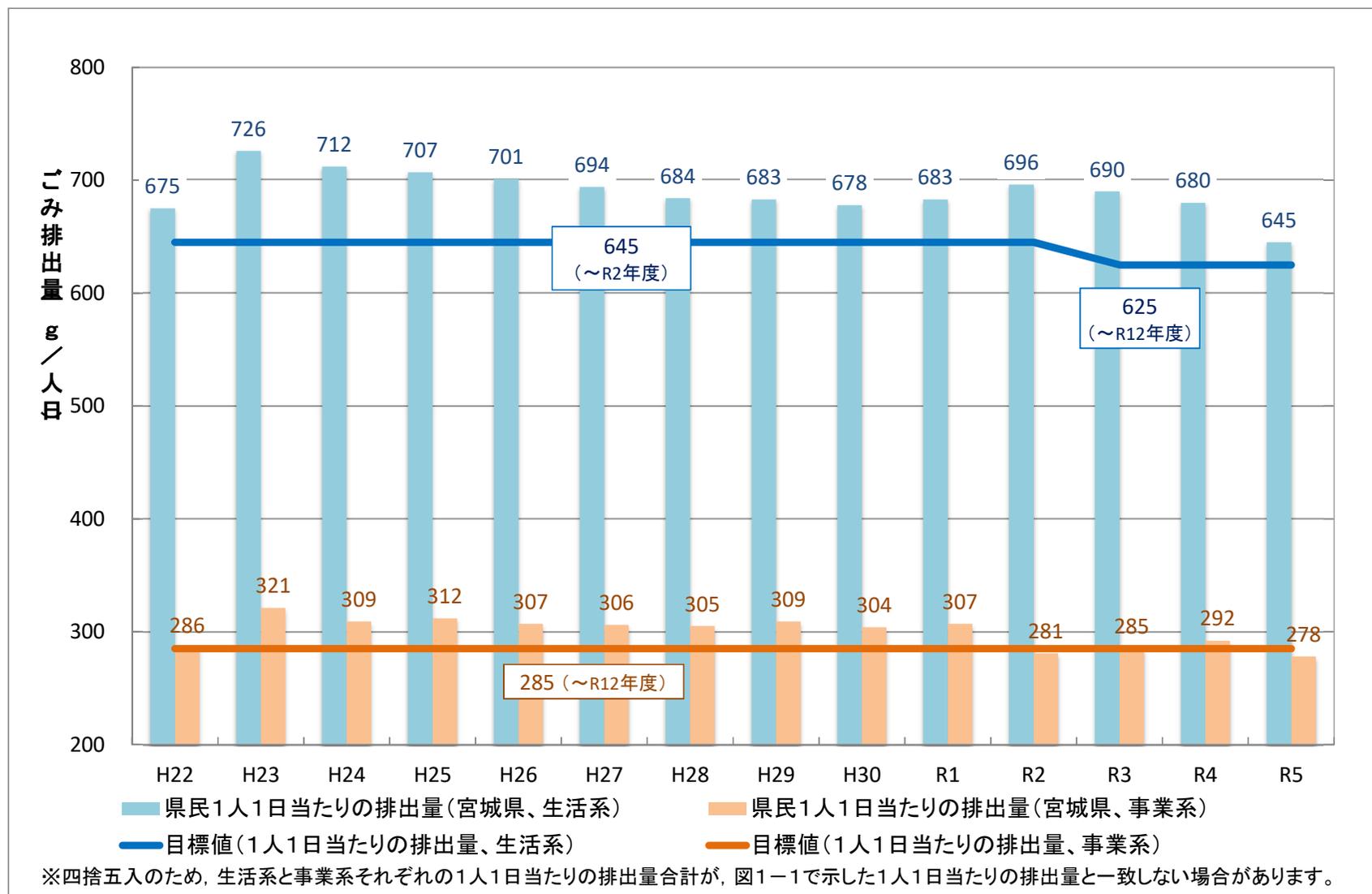


図1-2 1人1日当たりの排出量の推移

2 一般廃棄物のリサイクル（再生利用）率の推移

○ 令和5年度の県内の一般廃棄物のリサイクル量は116千トンで、これに事業者の自主的再生利用の実績（73千トン）を加えた宮城県内のリサイクル率は、22.8%でした。

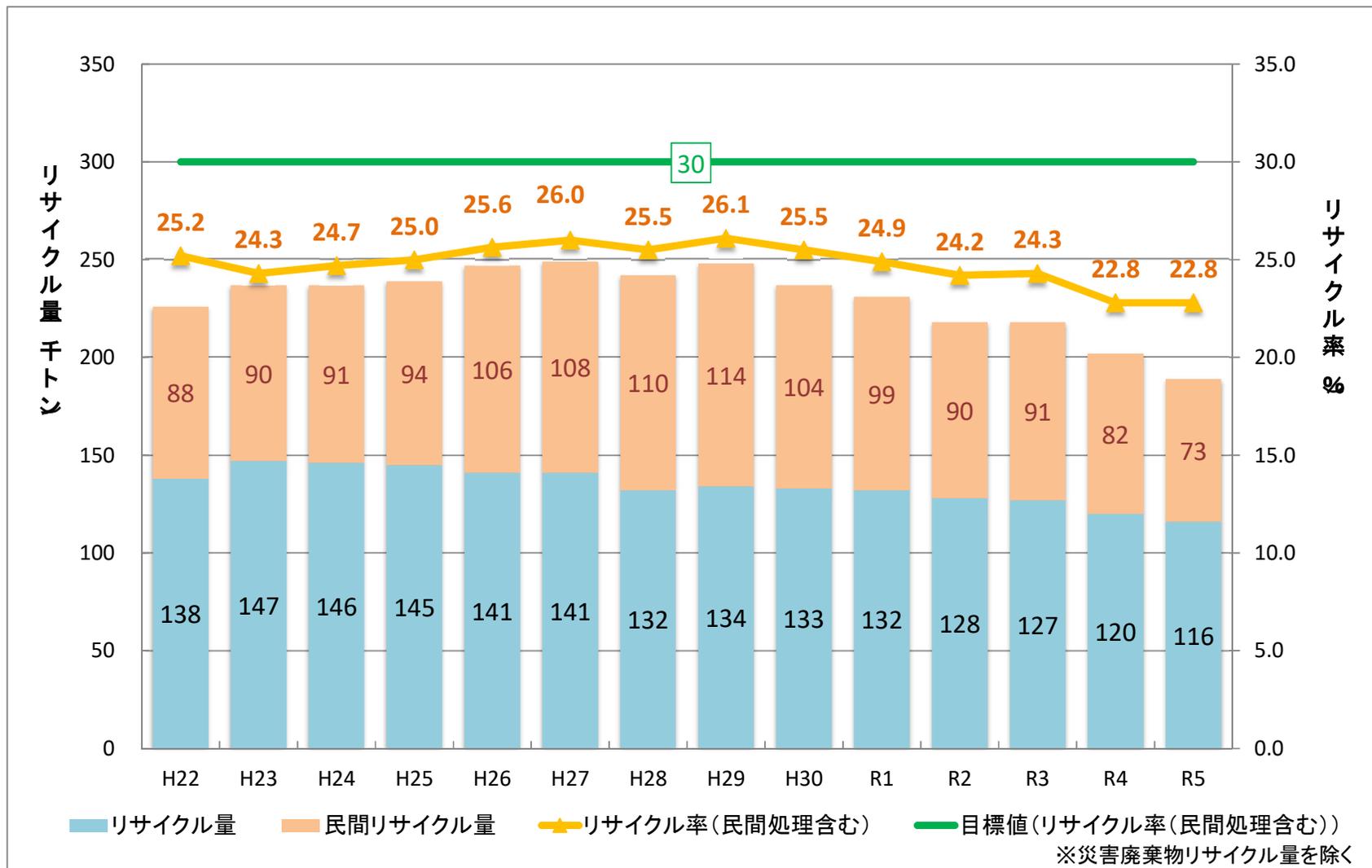


図2-1 県のリサイクル率の推移

○ 事業者の自主的再生利用を除くリサイクル量は116千トン、リサイクル率は15.3%で、昨年度と同程度です。また、リサイクル率は全国平均と比べると大きく下回っています。

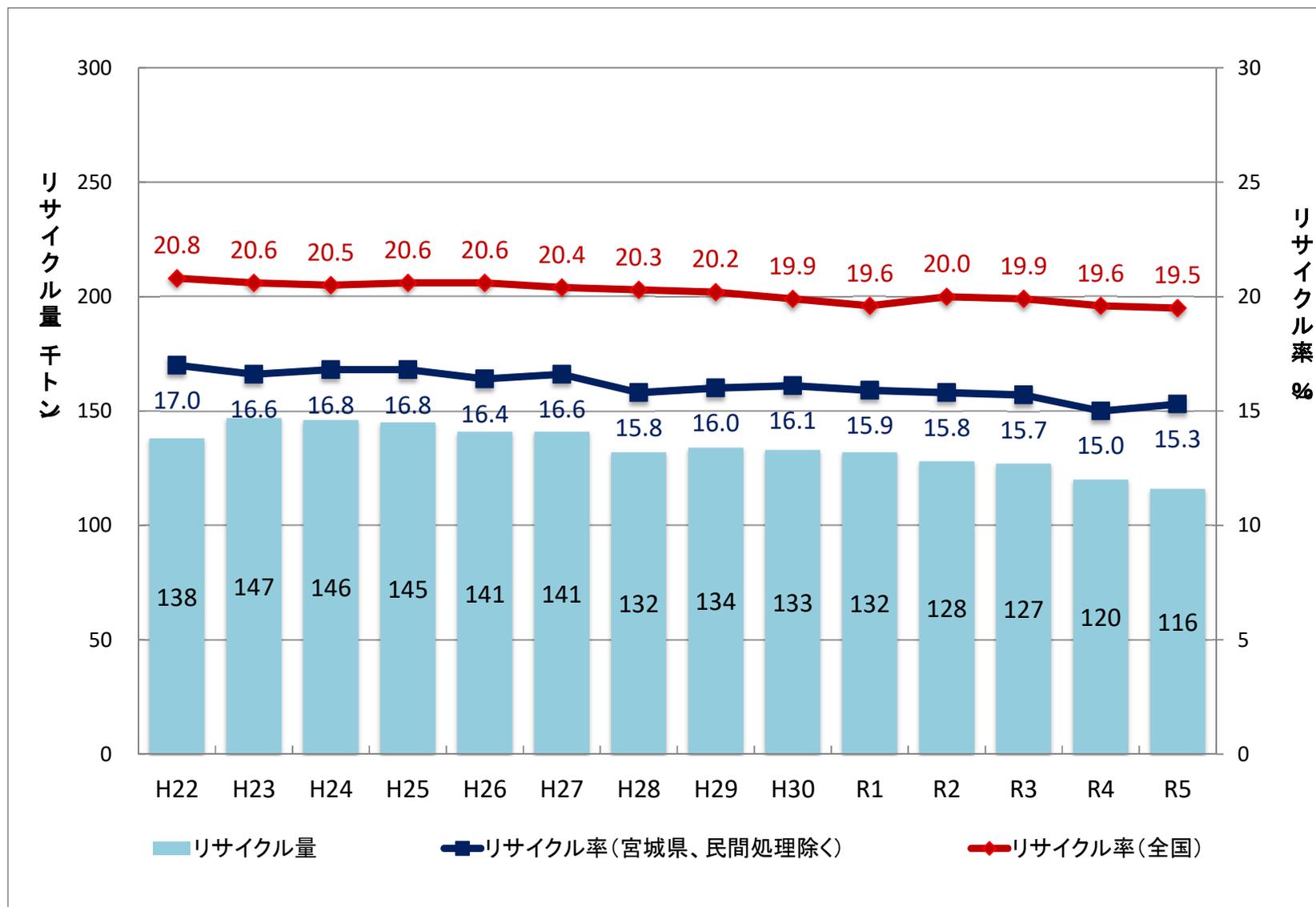


図2-2 県と国のリサイクル率の比較

3 一般廃棄物の最終処分量・最終処分率の推移

○ 令和5年度に埋立場へ最終処分されたごみは86千トンで、令和4年度より減少しました。最終処分率については、令和4年度と比較して0.6ポイント減少し、目標は未達成です。

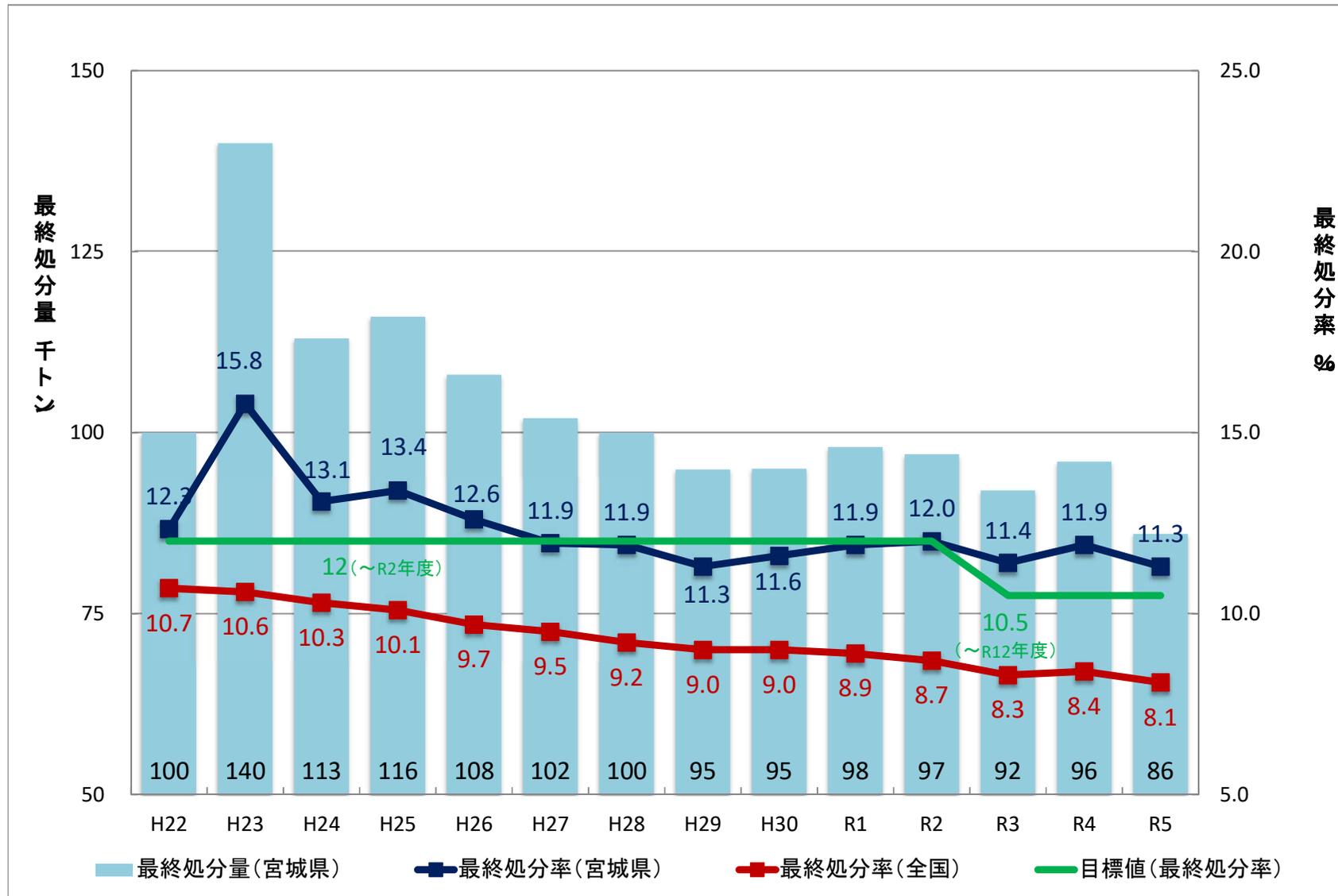


図3 最終処分量及び最終処分率の推移